

ロータリーは機会の扉を開く Rotary Opens Opportunities

2020-21年度 RI会長／ホルガー・クナーク
RI.D2590ガバナー／吉田 隆男
横浜旭RC会長／田川 富男

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(榊岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



横浜西部病院へフェイスシールド寄贈

鶴ヶ峰中学職業講話

旭ふれあい区民まつり

2020年10月21日 第2428回例会 VOL. 52 No. 8

■司 会 副SAA 目黒 恵一

■開会点鐘 会 長 田川 富男

■出席報告

会員数	25名	本日の出席数	19名
本日の出席率	82.61%	修正出席率	91.30%

■本日の欠席者

齋藤、柳沢、福村、嶋崎

■他クラブ出席者

田川、二宮麻理子、新川(地区)

■会長報告

「天高く馬肥ゆる秋」暑すぎず寒すぎず、心地良い季節となりました。空も澄み切って爽やかな気持ちになるのも秋で、収穫の季節でもあります。現在では天高くと聞くと良いイメージですが、中国の古記では注意を促すため秋になり馬が肥えると北方の遊牧民(匈奴)が襲来するぞ、とのことわざで真反対の意味になります。

1) SAAの宋会員は仕事の為に休会ですが、オンライン例会の推進に力を入れています。前回のオンライン例会は残念な結果に終わりましたが、今後の例会のあり方が問われた例会でもありました。

次の日に会長幹事会に二宮麻理子会員と参加した時、リモート例会の話題になり、他クラブでは11クラブ中4クラブでオンライン例

会を実施しており、当クラブを含めて3～5クラブはその準備をしているとの事です。

2) 10/8(出)午後、佐藤慎吾災害対策委員長、市川奉仕プロジェクト委員長と県立がんセンターにフェイスシールドを届けてまいりました。がんセンターに於いてもコロナウイルス感染には注意を払っており資材の提供に感謝するとのことで、総長の中山治彦様より感謝状を頂きました。また、以前に行ったがんセミナー、大川会員の話などと共に、感染収束したさいには中山様の入会も促しました。

3) 市川奉仕プロジェクト委員長、内田社会奉仕副委員長が推進している「ASAHI オンラインフェスティバル2020」の参加について、会員皆様のご協力をお願い致します。詳細は委員会報告でお願い致します。このような時期での活動は大変ですが、よろしく願い致します。

■幹事報告

○横浜田園ロータリークラブ

日時 11月3日(火)休会

日時 11月24日(火)→25日(水)

山内中学校職業講演会

日時 12月29日(火)休会

○横浜あざみロータリークラブ

日時 11月4日(水)休会

日時 11月11日(水)移動例会

点鐘 11時

場所 アートフォーラムあざみ野会議室
年次総会

日時 11月25日(水)移動例会

点鐘 13時15分

場所 アートフォーラムあざみ野
セミナールーム

R財団月間 新井凜子様

○新横浜ロータリークラブ

日時 10月23日(金)→22日(木)移動例会

場所 横浜カントリークラブ

日時 10月30日(金)休会

日時 11月27日(金)夜間例会 19時～

場所 新横浜国際ホテル

日時 12月11日(金)→10日(木) 18時30分

クリスマス例会

場所 新横浜国際ホテル

○横浜保土ヶ谷ロータリークラブ

日時 11月3日(火)祝日休会

日時 11月24日(火)休会

■2020-21年度第6回理事会

日時 10月7日(水) 13時15分より

場所 例会場

出席者(敬称略)

田川富男 北澤正浩 佐藤真吾 目黒恵一

安藤公一 新川 尚 市川慎二 宋 謹衣

二宮麻理子

○審議事項

災害対策委員会よりの「新型コロナウイルス」関連活動支援のための「ロータリー災害救援補助金」プロジェクトについて。

承認

■社会奉仕委員会

内田 敏

先日例会にて報告させていただきました区民まつり代替企画「ASAHI オンラインフェスティバル」に参加する事になりました。

企画内容としましては、当クラブの活動PRそして2022年NHKの大河ドラマに決まった当地ゆかりの武将畠山重忠の紹介に決定。つきましては畠山重忠他武将の甲冑姿の撮影を行いたいと思います。参加希望される方は次回10/21の例会にお知らせください。

撮影場所 市川会員の希望が丘幼稚園

撮影日時 10/24(土)午前11時集合

■災害対策委員会報告

佐藤 真吾

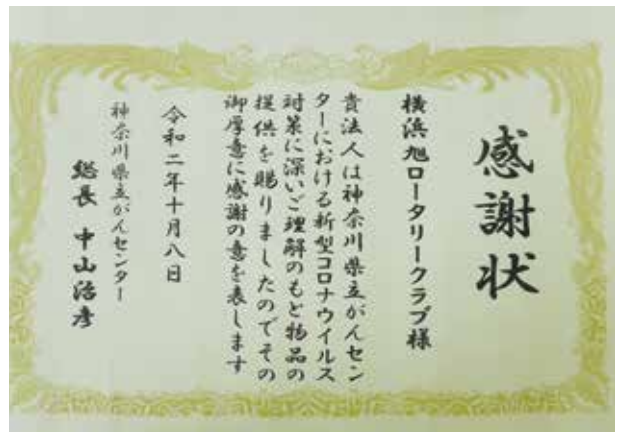


「神奈川県立がんセンターへのフェイスシールド寄贈」について

10/8(木)に神奈川県立がんセンターへ田川会長、市川奉仕プロジェクト委員長と災害対策委員長である佐藤真でお伺いし、フェイスシールド3ケース(360セット)を寄贈して参りました。

病院では、中山治彦総長に應對していただきました。中山総長から、「貴重な医療用物資の寄贈をいただき、有り難うございます。」との感謝の言葉と、あわせてクラブへ感謝状をいただきました。その後の懇談の中で、これまでのがんセンターと当クラブとの取り組み(がんセミナーやクライムプログラム支援など)を紹介させていただき、引き続き連携して地域に対する活動をしていきたい旨、お話しさせていただきました。

また、あらためて大川前病院長が当クラブ会員でいらっしゃった事、定年退職される際に新しい病院長が入れ替わりに入会される予定だった事などもお話しさせていただきました。当日は、金森新病院長がご不在だったので、次回の寄贈の時にご挨拶させていただきたいと思っております。



■雑誌委員会

関口 友宏

ロータリーの友 10月号の紹介

○横書き

1) コロナ禍での自然災害

各地からの思いをつなぐ (P. 7)

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、豪雨が各地を襲いました。特に2020年7月3日～4日未明にかけて熊本南部を襲った令和2年7月豪雨(熊本豪雨)は、球磨川を氾濫させ、65人の尊い命を奪う大きな被害となりました。恐れていたコロナ禍での災害。特集では、熊本豪雨におけるロータリーの災害復旧支援活動を紹介しています。

2) 米山月間 (P. 13) 毎年10月は米山月間です。

- ・米山記念奨学会の歩み
- ・第4代米山親善大使紹介
- ・ロータリー米山記念奨学会資料

○縦書き

1) 地域と共に歩む経営

(株)セコマ代表取締役会長丸谷智保様 (P. 4) 第2500地区研修会講演要旨

同社は北海道でコンビニ1,100店舗を展開、顧客満足度4年連続第1位で、地域密着を戦略に発展してきた企業。ぜひご一読下さい。

2) この人を訪ねて

佐々木義朗さん、千歳ロータリークラブ (P. 9)

新型コロナウイルス感染拡大の影響をまろに被っているのが観光業界。北海道支笏湖のほとりで創業100年を歴史を誇る老舗、丸駒温泉旅館の4代目社長。

「一日で最高1,500人ほどのキャンセルがきた時は正直どうしようかと思いました。この間宿泊客がたった一組二人のときもあり、支笏温泉で軒並みホテルが休館しました。でも、うちは常連さんが多いので一日も休んでいません。少しずつ持ち直していますが、まだ稼働率は半分以下。ストレスからか、体重が5キロ以上減りました」とのこと。

苦境の中支笏湖温泉旅館組合長など10を超える役職をこなしながら頑張るロータリアン佐々木さんの奮闘ぶりを紹介。

3) 俳壇 (P. 15) には吉原会員の一句が載っています。

「今日の日の 平穏祈る 朝の蜘蛛」

■ニコニコBOX(会員敬称略)

田川 富男/このような時期での活動は大変と思いますが、各委員会活動が大切と考えます。よろしくお願い致します。

二宮麻理子/岡田さん、本日の卓話よろしくお願ひします。

岡田 隆/本日、卓話をさせていただきます。ざっくりとした事しかお伝え出来ませんが、どうぞよろしくお願ひいたします。

市川 慎二/岡田さん、卓話お願ひ致します。

兵藤 哲夫/岡田さん、お話楽しみにしています。

五十嵐 正/岡田さん本日の卓話楽しみです。

安藤 公一/岡田さん、本日の卓話宜しくお願ひします。

北澤 正浩/岡田さんの卓話、楽しみにしております。

太田 勝典/岡田さん、卓話楽しみにしております。

目黒 恵一/岡田さん、卓話楽しみです！同業者として期待しております。

二宮 登/岡田さん、今日の卓話楽しみにしています。

内田 敏/岡田さん、本日の卓話よろしくお願ひします。

佐藤真吾・佐藤利明/岡田さん、本日の卓話楽しみにしています。

■卓話

「飲食・イベント業の現状」 岡田 隆

新型コロナウイルスの流行により、会員の皆様も過去に経験の無いような状況をお過ごしのことと存じます。弊社は複数の業種を運営しております。ちょうど上半期の業績が出そろいましたので、それぞれの業種における影響などを大まかな数字を含めお話ししたいと思います。ここ数年、私共の運営するグループ会社の売上構成比は、フードビジネスが45%、レンタル・サービスビジネスが30%、イベント関連ビジネス15%、介護保険関連サービス10%で推移しております。

今期一番大きな影響を受け続けているのが、イベント関連事業です。4、5月は昨対比2%程度の売上に落ち込み、現在半期で昨対比15%、繁忙期の10、11月の売上予測から、



通年でさらに悪化する見通しです。もともとオリンピックイヤーのつもりで、業界全体が期待をしていた年度でしたので、弊社にとっても大きな痛手となっています。先の見通しも読みにくいため、9月末に人員整理、営業所統合など、事業規模の見直しを計りました。

次に大きな影響を受けているのが、レストラン・カフェ事業で、最長で2ヶ月の休店を経て、現在昨対比60%台まで戻っていますが、夜の時間帯が全く回復せず、席の間引きや感染対策の費用等の影響もあり非常に苦戦しております。

11月6日から神奈川県もGoToイートのチケット販売がはじまりますので、年末に向けて少しだけ期待はしていますが、前回のような営業自粛要請がでるような事態になると、外食産業は総崩れになると思います。そんな状況下で、弊社がなんとか運営できているのは、フードビジネス部門で8割強がミスタードーナツと宅配ピザで占めているからです。ミスタードーナツは店内飲食の減少は大きいものの、それを補えるほどのテイクアウト需要のお陰で、今期昨年対比101%の売上を計上しています。宅配ピザ事業においては、2月以降、昨年対比150%以上を続けておりました。お客様の動向に直結しているため、GoToトラベルが始まったところから落ち着きだし、9月以降は120%程度の予測で推移しています。

出前館さん、UberEatsさんも業績はかなり良いと思われそうですが、一気に拡大されているせいか配達員さんの質が問われている事も多いようです。弊社のドライバーも少々ヤンチャな子も少なくないので、一層の教育指導に力を入れていきたいと思っています。

結果として飲食部門はトータルで若干のプラス成長の予定ですが、収益としては、かなりのマイナス成長を覚悟しています。要因は、休店、営業時間短縮の際にコントロールできなかった費用の積算があまりにも大きかったためです。費用の大半は人件費と家賃で、一部大家さんからは減免の支援もいただきましたが、到底カバーできるものではありませんでしたし、雇用調整助成金も、弊社は特例を満額はいただけませんでしたので、大きな負担となりました。

もう一方の大きな柱である、ダスキン事業は、飲食店やパチンコ店などの休店でマイナスの影響が出たものの、除菌関連商品の販売数の大幅増加と空気清浄機などの新規契約により、ほぼ横ばいで推移しています。唯一家庭用の訪問清掃の部門だけが「緊急事態宣言」期間中にキャンセルが多かったため、一時は昨年比6割と大きく落ち込みましたが、現在は復調傾向にあり、上半期15%マイナス程度まで戻すことができています。

最後に介護用品のレンタル事業ですが、新規開拓の営業訪問ができず、当初は危惧しておりましたが、結果としては在宅介護が増えているようで、現状は平時と同様の成長率で推移しています。この傾向は病院のベッド数の問題と考えられるので、しばらく続くと思われそうですが、当事業のスタッフの感染予防に一番神経を使っています。社内の打合せも3名以上はすべてリモートもしくは文書の回覧を続けています。

グループ全体では、売上ベースで昨年対比85%程、修正予算にわずかに届かない程度に収まっていますので、このままの推移であればなんとか継続できる状況ではありますが、複数事業の運営で、リスク回避ができて一方社員さんの意識の格差も生まれてきているのも事実です。

この数ヶ月、多くの社員さんアルバイトさんのご理解、ご協力によって乗り切ってきた事に報えるよう事業継続に励みます。

■次週の卓話

11/18(水)一般卓話

倉本 宏昭会員

週報担当 安藤 公一